MAF-637D　KGV1　2016年8月1日発行

LIXIL

屋根点検用 アルミはしご アルミタラップ 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
●本製品は木造住宅の屋根の点検（屋根の腐食・排水パイプの点検）を目的としたものです。それ以外の用途（避難用のはしごなど）には使用しないでください。

■取付けされる方へのお願い

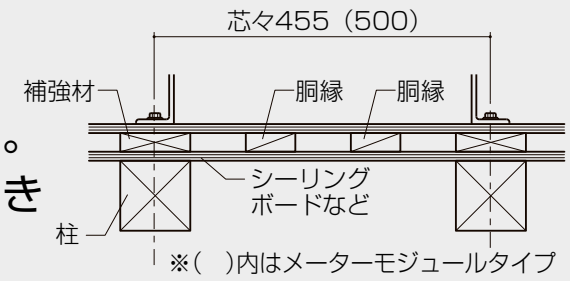
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠警 告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠警 告

※はしごの落下、人の転落防止のため、下記事項をお守りください。
●本製品は木造住宅の屋根の点検（屋根の腐食の点検・排水パイプの点検）を目的としたものです。それ以外の用途（避難用はしごなど）には使用しないでください。
●躯体が経年劣化などで損傷が著しい場合は取付けないでください。
●躯体取付けねじは必ず、柱・間柱・胴縁などの構造体に止めてください。（右参考図参照）躯体位置がわからない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けないでください。



●構造材と外壁との間にすき間がある（補強材がない）場合は、取付けないでください。
●プラグ類を使用してモルタル部分だけで固定することは、非常に危険ですから絶対に行わないでください。
●躯体取付けねじは、構造体に40mm以上ねじ込んでください。
●躯体取付けねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。（φ5のねじに対しφ3.5、φ6のねじに対しφ4.5のドリルを使用してください。）
●必ず指定の組立てねじ・ボルトを使用してください。又取付け後、ねじ・ボルトに緩みがないか点検してください。
●踏み桟を子供の手の届かない高さにしてください。誤って子供が上がり、転落するおそれがあります。

⚠注 意

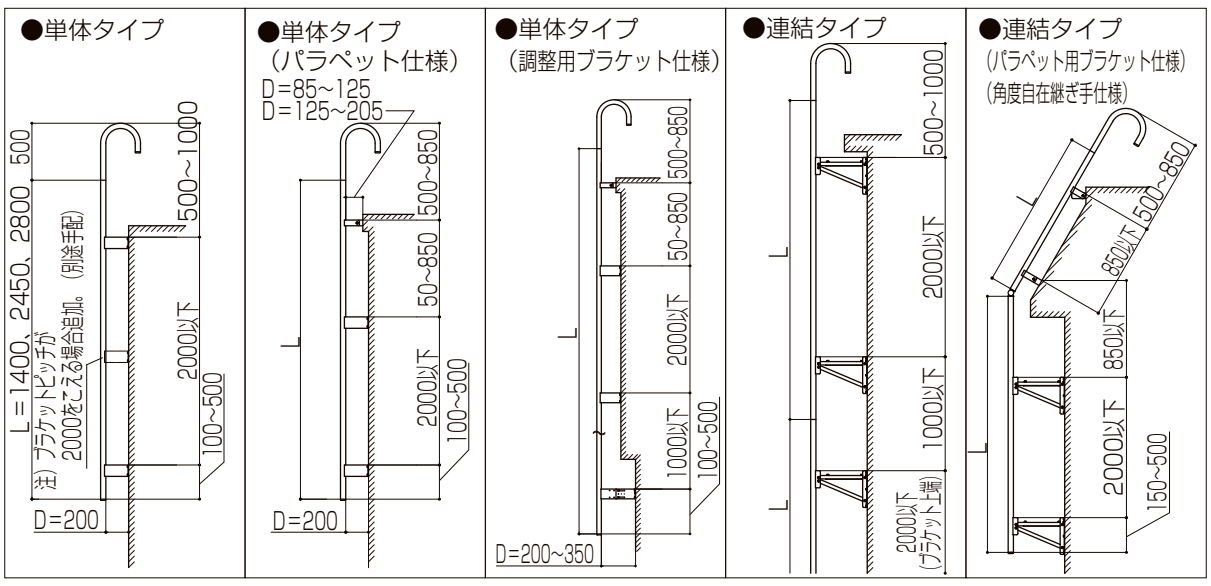
●日常通路となる場所に設置しないでください。はしご下端にぶつかり、ケガをするおそれがあります。
●外壁材の種類によりねじ止め指定を受ける場合がありますので、カタログなどより確認し指定以外の範囲には取付けないでください。外壁材を破損するおそれがあります。
●躯体取付けねじ下穴には必ず、コーキング材を充てんしてください。建物内部への漏水の原因となります。
※製品腐食によるはしごの落下防止のため、下記事項をお守りください。
●海岸・工業地帯など塩害が特にひどい地域や、煤煙による腐食のおそれがある地域に設置しないでください。
●アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは絶縁処理をしてください。

■取付け上のお願い

●施工は専門業者が行ってください。
●防犯上支障のある場所（窓・ベランダの近く）に設置しないでください。
●当社指定の部品以外は取付けないでください。昇降の妨げとなります。

■ブラケット取付けピッチ

●下表を参照の上、取付けピッチをお守りください。

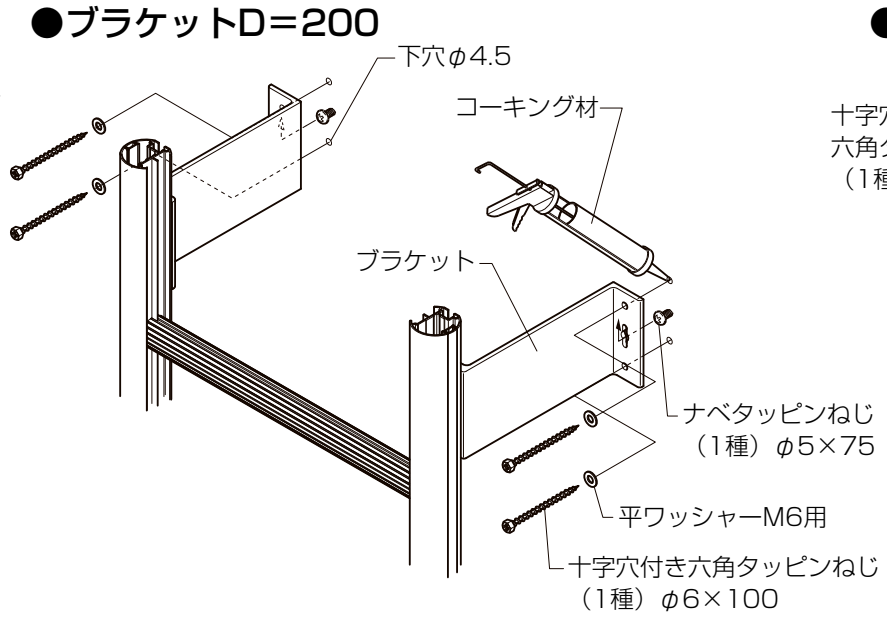


※ブラケットの取付けピッチは、出幅(D＝200・300・450・600・750・本体サイズ(L＝1400・2450・2800))にかかわらず共通です。(上表は代表例を表しています。)

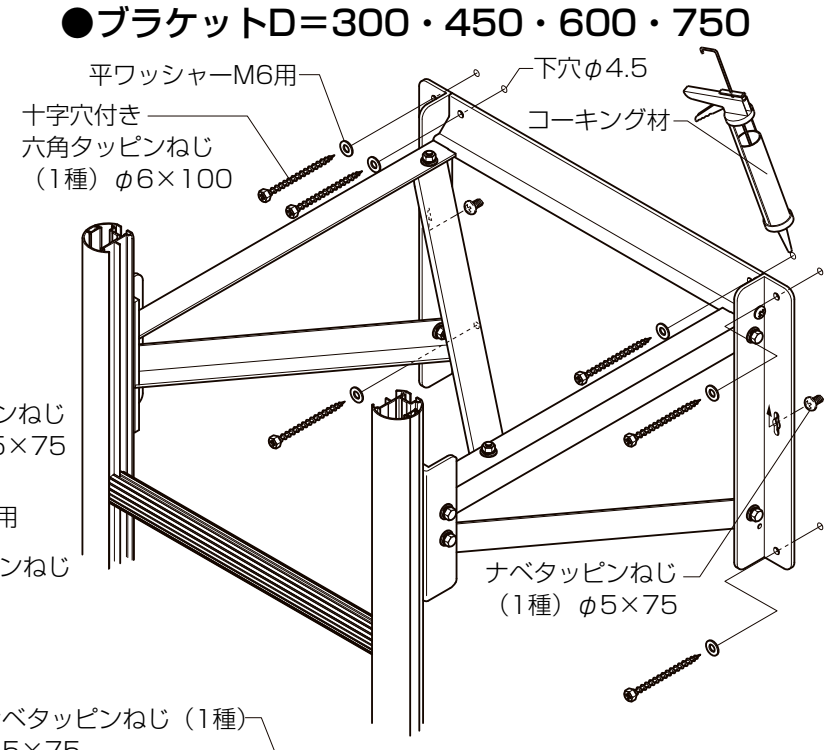
■ブラケットの固定

①仮止め穴以外の躯体取付け穴にφ4.5の下穴をあけ、コーキング材を充てんします。
②平ワッシャー、十字穴付き六角タッピンねじ(1種)φ6×100でブラケットを躯体に固定します。
③仮止めしているナベタッピンねじ(1種)φ5×75を締付けます。

●ブラケットD=200



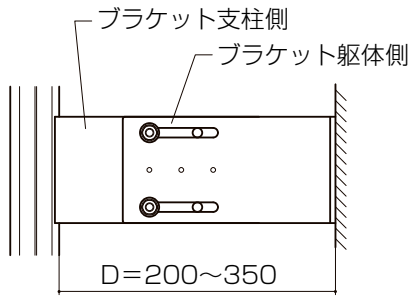
●ブラケットD=300・450・600・750

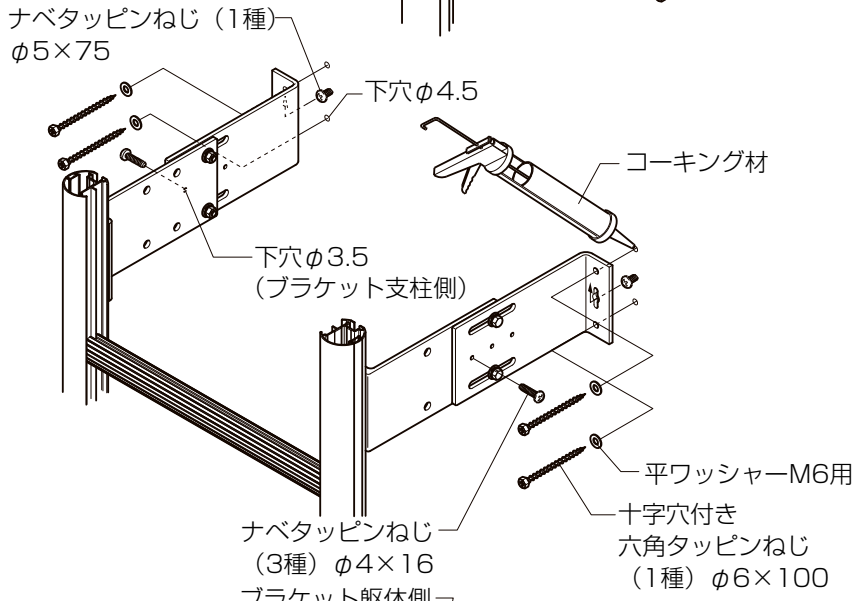


■調整用ブラケットD=200～350の取付け

①タラップを躯体にあて、ブラケットの出幅を調整して仮止め穴以外の躯体取付け穴にφ4.5の下穴をあけます。(右図参照)
②下穴にコーキング材を充てんし平ワッシャー・十字穴付き六角タッピンねじ(1種)φ6×100でブラケットを躯体に固定します。
③ブラケット支柱側とブラケット躯体側をつないでいる六角ボルトM8×25、六角ナットを締付けます。
④ブラケット躯体側の穴に合わせ、ブラケット支柱側にφ3.5の下穴をあけナベタッピンねじ(3種)φ4×16で固定します。

●出幅

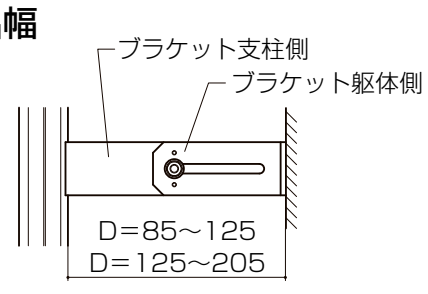




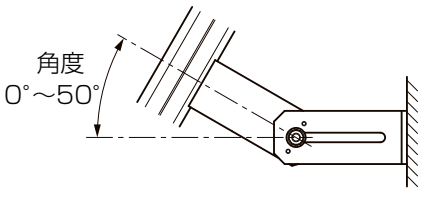
■パラペット用ブラケットの取付け

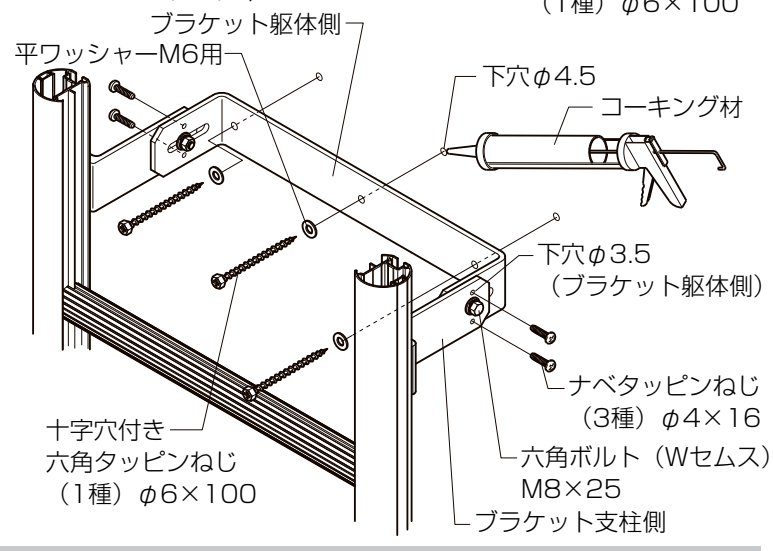
①タラップを躯体にあて、ブラケットの出幅・角度を調整してφ4.5の下穴をあけます。(右図参照)
②下穴にコーキング材を充てんし平ワッシャー・十字穴付き六角タッピンねじ(1種)φ6×100でブラケットを躯体に固定します。
③ブラケット支柱側とブラケット躯体側をつないでいる六角ボルトM8×25、六角ナットを締付けます。
④ブラケット支柱側の穴に合わせ、ブラケット躯体側にφ3.5の下穴をあけナベタッピンねじ(3種)φ4×16で固定します。

●出幅



●角度





■梱包明細

●本体セット (L=1400・2450・2800)

名　称	員　数
本体	1セット
ジョイントスリーブ	2
エンドキャップ	2
穴ふさぎシール	4
六角ボルト(Wセムス)M8×20	8
ナベタッピンねじφ4×10	2
取付け説明書	1

●上部アールセット

名　称	員　数
上部アール	左右各1

●ブラケットセット　D=200

名　称	員　数
ブラケット	4
ブラケット裏板A	4
六角ボルトM8×20	8
六角ナットM8用	8
平ワッシャーM8用	8
スプリングワッシャーM8用	8
六角タッピンねじφ6×100	8
平ワッシャーM6用	8
ナベタッピンねじφ5×75	4
ナベテクスねじφ4×25	4

●ブラケットセット
D=300・450・600・750

名　称	員　数
ブラケット	左右各2
ブラケット裏板B	4
ブラケット躯体側横材	2
ブラケット筋交	2
六角ボルトM8×20	8
六角ボルト(Wセムス)M8×25	4
六角ナットM8用	12
平ワッシャーM8用	12
スプリングワッシャーM8用	12
六角タッピンねじφ6×100	12
平ワッシャーM6用	12
ナベタッピンねじφ5×75	4
ナベテクスねじφ4×25	4
トラスタッピンねじφ4×20	4

●パラペット用ブラケットセット

名　称	員　数
ブラケット支柱側	2
ブラケット裏板A	2
ブラケット躯体側	1
六角ボルトM8×20	2
六角ボルト(Wセムス)M8×25	2
六角ナットM8用	4
平ワッシャーM8用	4
スプリングワッシャーM8用	4
六角タッピンねじφ6×100	3
平ワッシャーM6用	3
ナベテクスねじφ4×25	4
ナベタッピンねじφ4×16	4

●調整用ブラケットセット

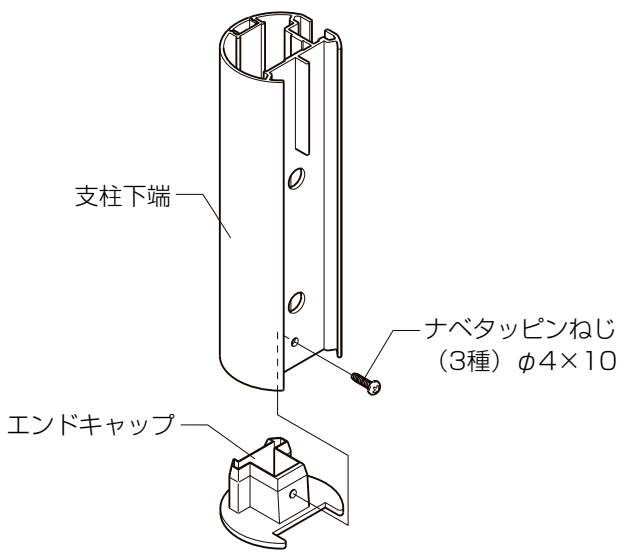
名　称	員　数
ブラケット支柱側	2
ブラケット裏板A	2
ブラケット躯体側	2
六角ボルトM8×20	4
六角ボルト(Wセムス)M8×25	4
六角ナットM8用	8
平ワッシャーM8用	8
スプリングワッシャーM8用	8
六角タッピンねじφ6×100	4
平ワッシャーM6用	4
ナベタッピンねじφ5×75	2
ナベテクスねじφ4×25	2
ナベタッピンねじφ4×16	2

●角度自在継ぎ手セット

名　称	員　数
角度自在継ぎ手	2

2 キャップの取付け

●支柱下端にエンドキャップを差込み、ナベタッピンねじ（3種）φ4×10で取付けます。

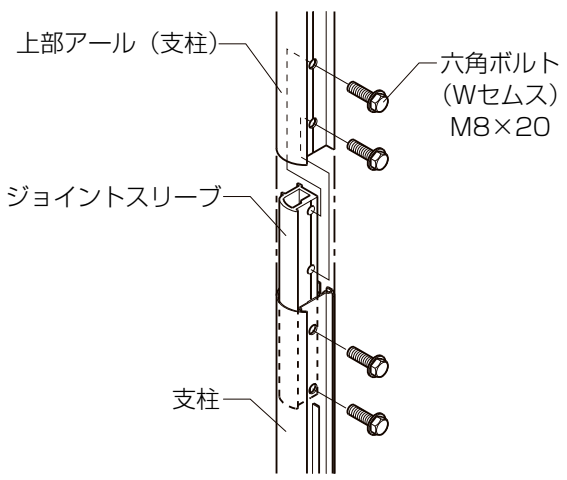


3 支柱の連結

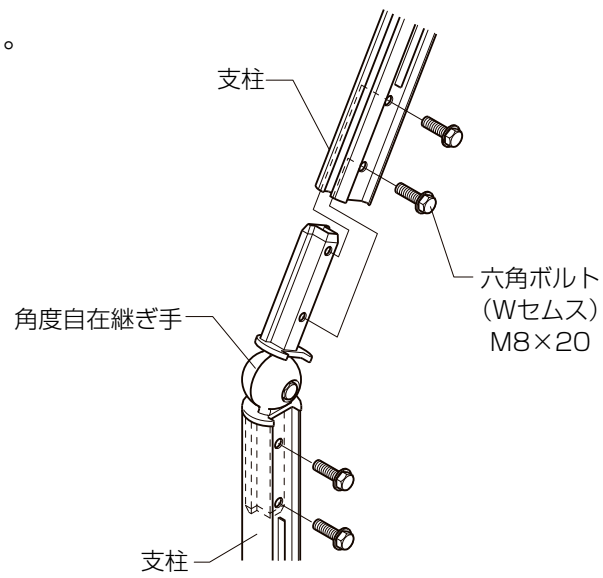
●支柱に連結部材を差込み六角ボルト（Wセムス）M8×20で固定します。

■支柱と上部アールの連結

●支柱同士の連結の場合も同様に組立てます。



■角度自在継ぎ手による連結

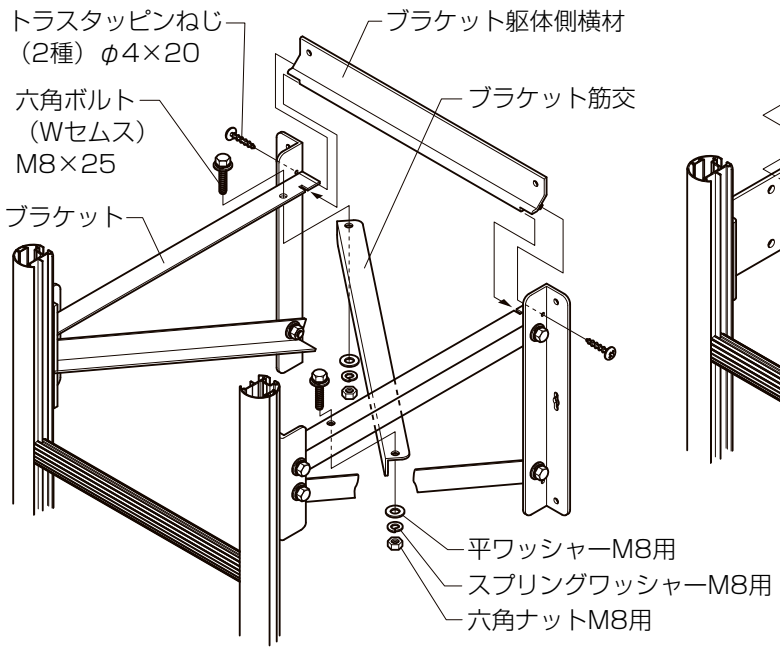


4 ブラケットの組立て

■ブラケットD=300・450・600・750

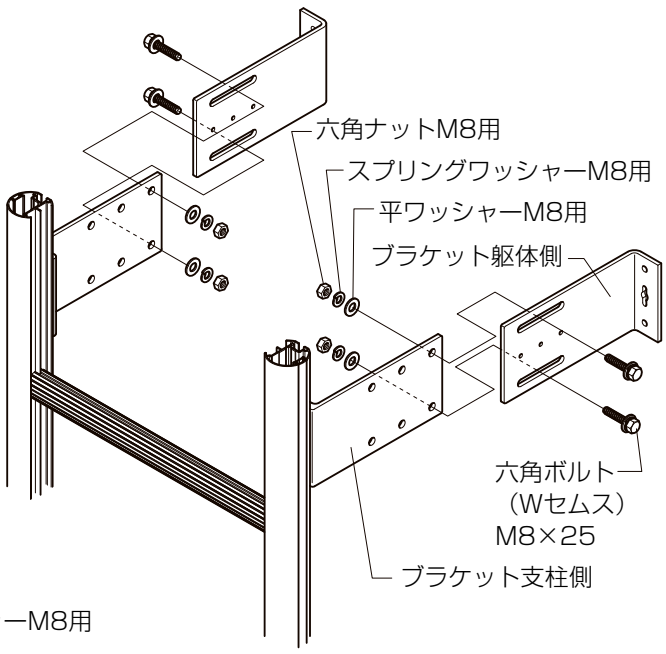
①ブラケットの切欠き部にブラケット躯体側横材を差込みトラスタッピンねじ（2種）φ4×20で固定します。

②ブラケットとブラケット筋交に六角ボルト（Wセムス）M8×25を通し、平ワッシャー・スプリングワッシャー、六角ナットで固



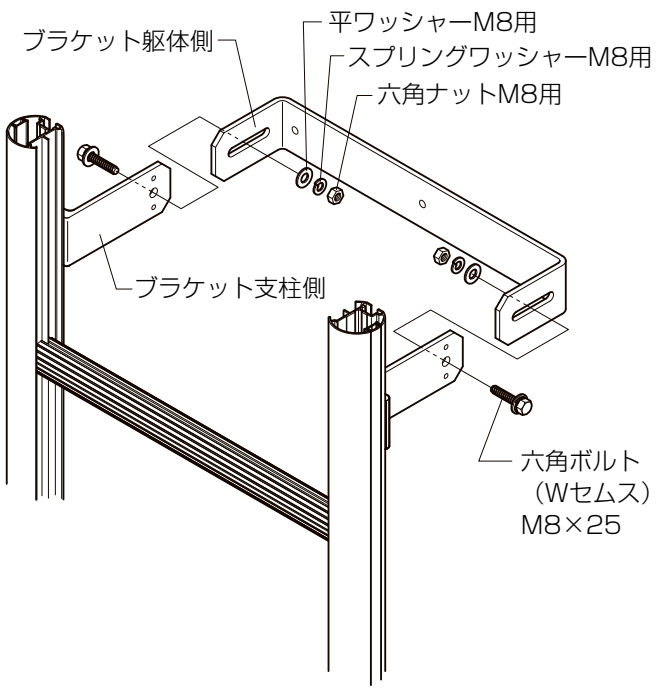
■調整用ブラケットD=200～350

●ブラケット支柱側とブラケット躯体側に六角ボルト（Wセムス）M8×25を通し、平ワッシャー・スプリングワッシャー・六角ナットで仮止めします。



■パラペット用ブラケット

●ブラケット支柱側とブラケット躯体側に六角ボルト（Wセムス）M8×25を通し、平ワッシャー・スプリングワッシャー・六角ナットで仮止めします。



5 ブラケットの躯体への取付け

■ブラケットの仮止め

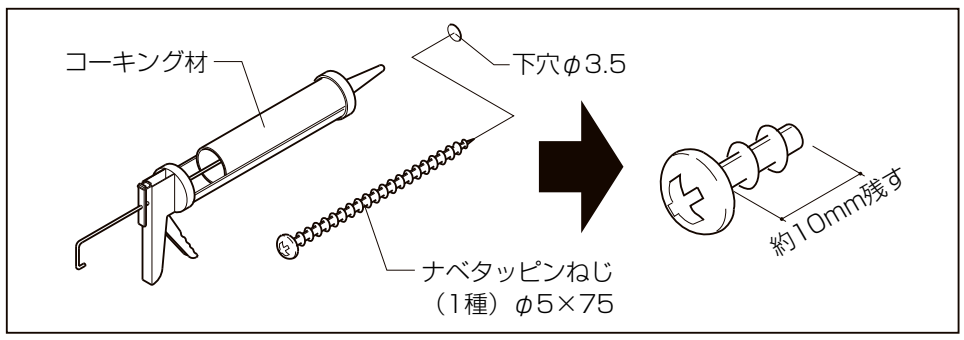
①躯体構造材の位置を確認し、タラップを躯体にあてブラケット仮止め穴の位置に印をつけます。（下図参照）

②ブラケット仮止め位置にφ3.5の下穴をあけ、コーキング材を充てんします。

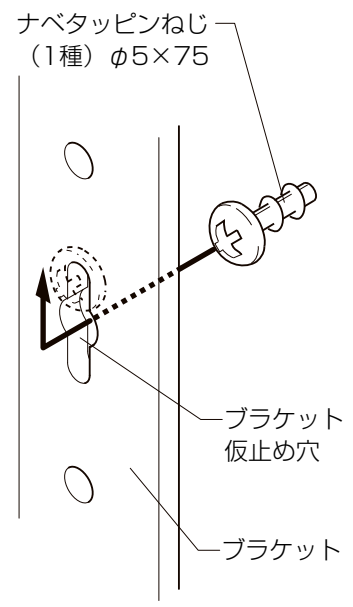
③ナベタッピンねじ（1種）φ5×75のねじ部を10mm程度残し、躯体にねじ込みます。（右図参照）

④このねじにブラケット仮止め穴を引っ掛けます。（A部詳細図）

※このとき、タラップに絶対登らないでください。

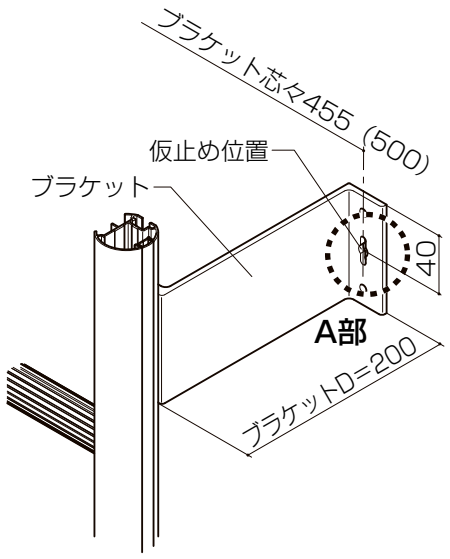


■A部詳細図



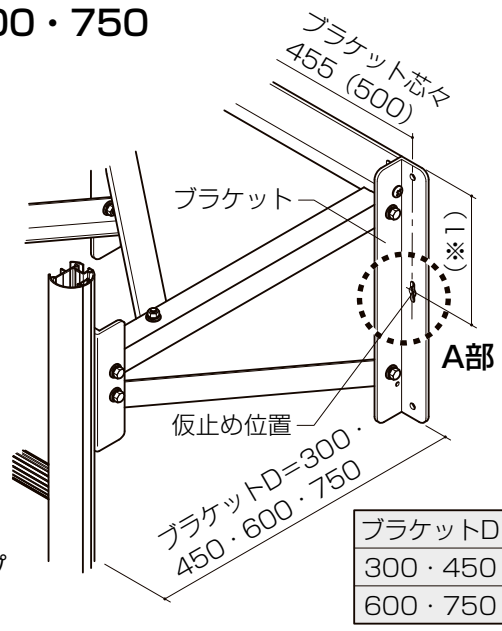
【ブラケットの仮止め位置】

●ブラケットD=200



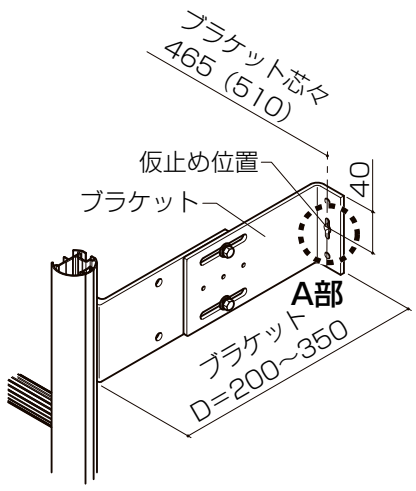
※（　）内はメーターモジュールタイプを示します。

●ブラケットD=300・450・600・750

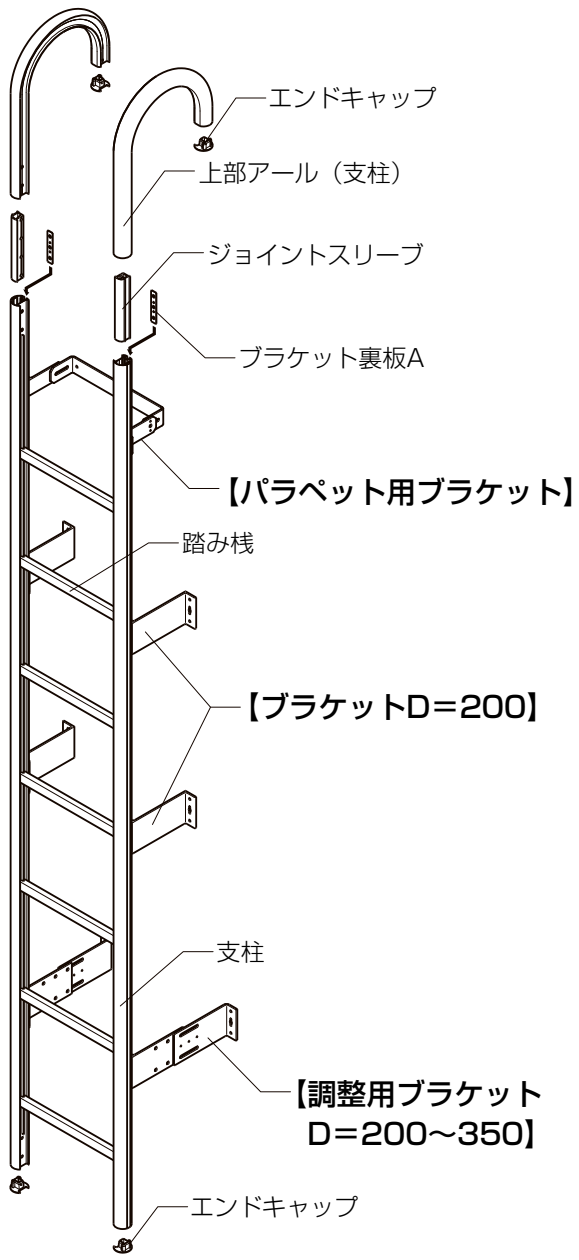


ブラケットD	（※1）
300・450	151.5
600・750	215

●調整用ブラケット D=200～350

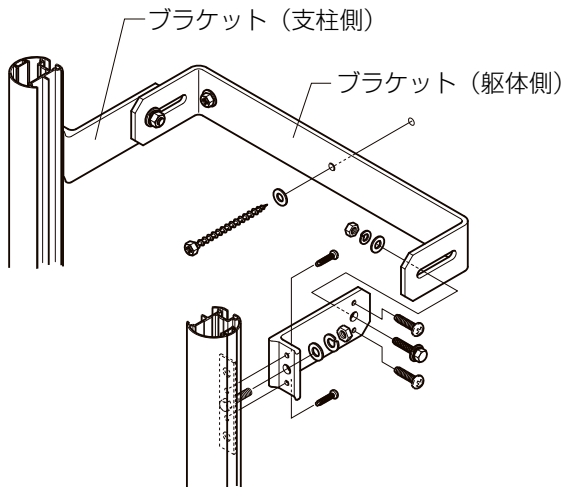


■構造説明図

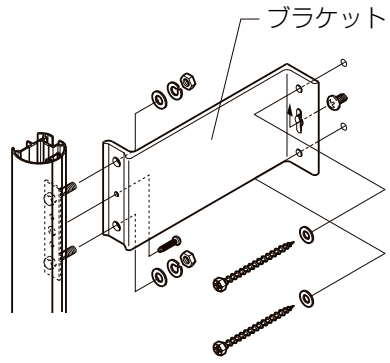


※上図はD=200を示しています。

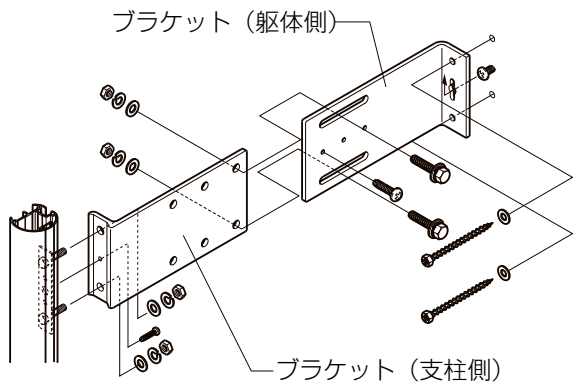
■パラペット用ブラケット D=85～125・125～205



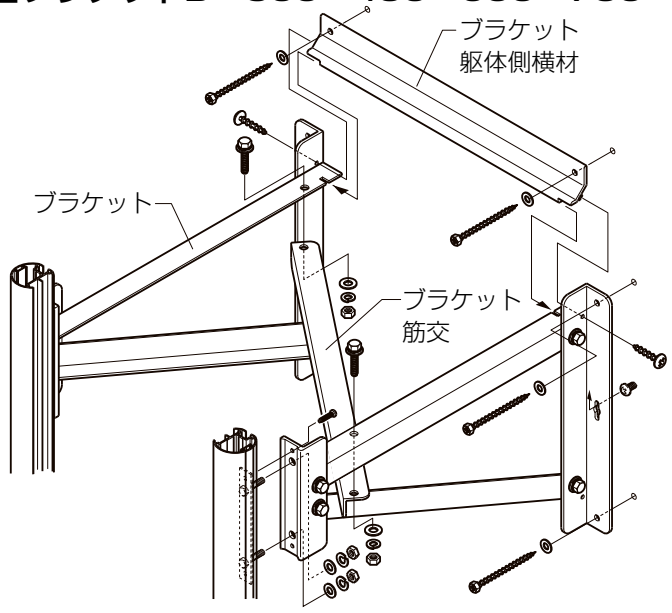
■ブラケットD=200



■調整用ブラケットD=200～350



■ブラケットD=300・450・600・750

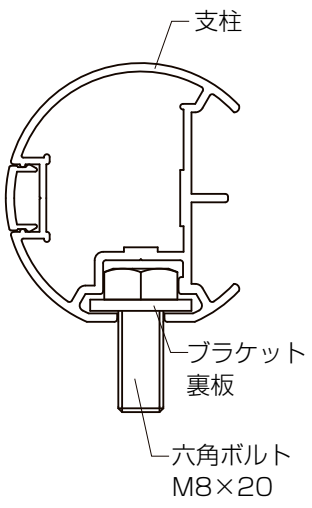


■取付け順序

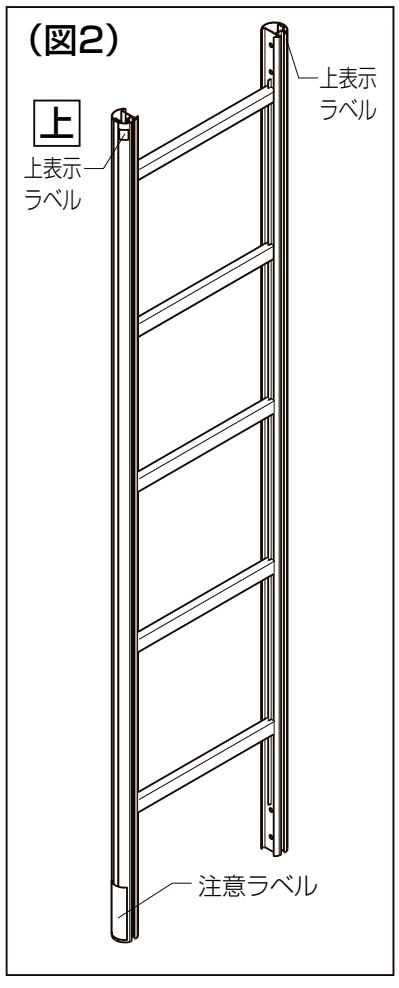
1 ブラケットの支柱への取付け

①ブラケット裏板に六角ボルトM8×20を通し、支柱端部より支柱の溝に差込みます。（図1）
②このボルトにブラケットを、平ワッシャー・スプリングワッシャー・六角ナットで固定します。
③ブラケット位置を確認して、ナベテクスねじφ4×25で固定します。
※タラップ本体には上下があります。ラベル表示を確認の上、ブラケットの位置出しをしてください。（図2）

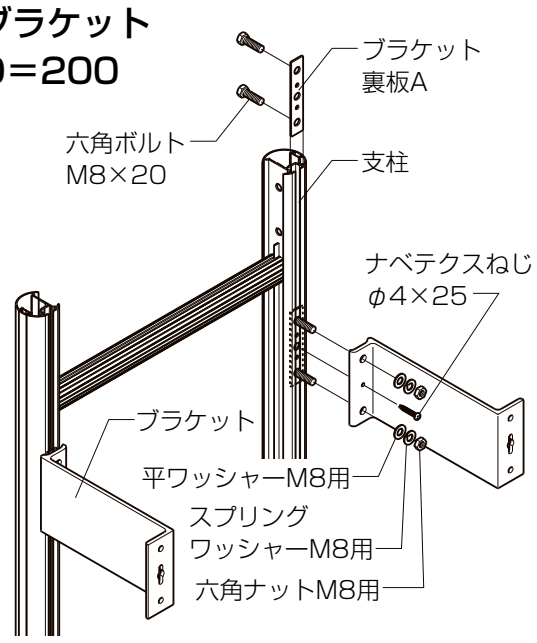
■ブラケット裏板ボルト納まり図（図1）



（図2）

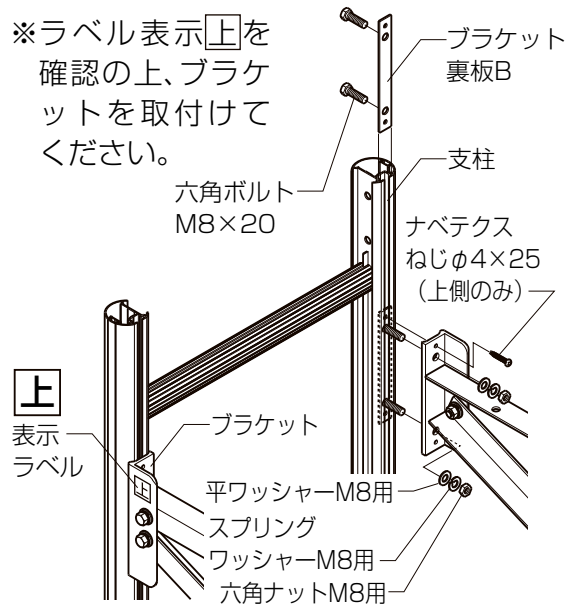


■ブラケット D=200



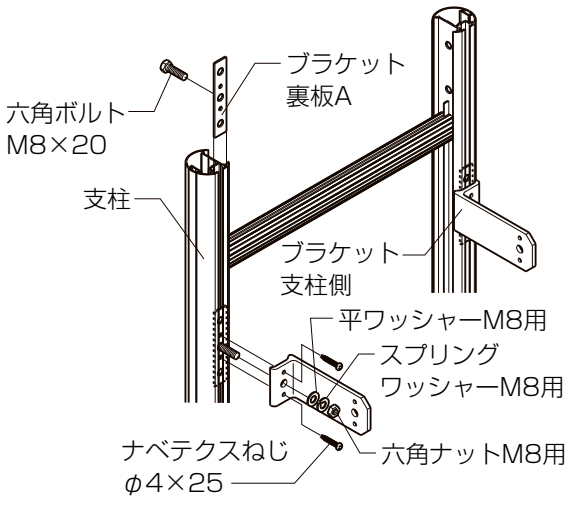
■ブラケットD=300・450・600・750

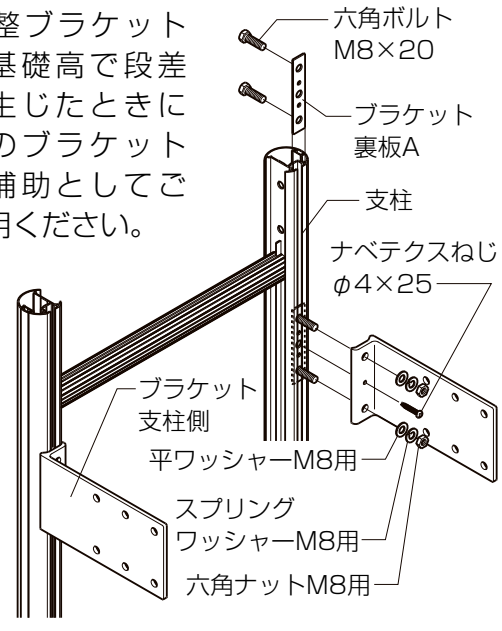
※ラベル表示上を確認の上、ブラケットを取付けてください。



■パラペット用ブラケット

※パラペット用ブラケットはパラペット部にご使用ください。



■調整用ブラケットD=200～350

※調整ブラケットは基礎高で段差が生じたときに他のブラケットの補助としてご使用ください。